

米沢織を広めよう

1<<動機>>

米沢市の伝統的工芸品といえば？



米沢織！



米沢織の現状を知り良さを広めよう

2<<仮説>>

今の米沢織の現状は……

- ・ 若い世代の認知度が低いのでは
- ・ 商品を持っている人が少ないのでは
- ・ 広める活動を行っている人はいるか

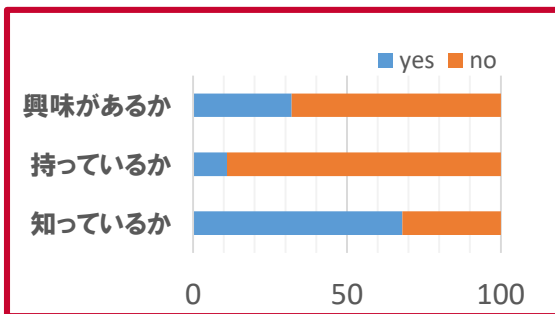
米沢織とは…？

米沢の伝統的工芸品！！
紅花などの植物染料で糸を
染めているよΣ（・ω・ノ）！

3<<調査①アンケート>>

◎米沢織についての意識調査

〔米東一年生130人〕



○米沢織で欲しいもの



財布・ハンカチ・ポーチ・アクセサ
リー・小物



〔購入者〕（11/23～12/16）
米織会館、上杉城史苑のお客様に
アンケート



- ◆ 着物の着付け体験（30代女性）
- ◆ かわいいデザインの小物（20代女性）
- ◆ お土産になる小物（60代男性）
- ◆ 紅花染めの着物（60代女性）

<<調査②インタビュー>>

米織会館

米沢織物組合の
方にインタビュー

Qどの世代が買うのか
A年配の方

米沢織を広める活動している方

大学生の〇〇〇〇さん
にインタビュー

Qどのような活動をしているか
A米沢織を使ったステッカー
を作っている
Qおすすめの商品
Aニトリの商品（米沢織ブランド）

4<<まとめ>>

- ・ 高校生は米沢織について知ってはいるが興味・関心が低く、持っている人も少なかった。
- ・ インタビューやアンケートの結果、若い世代からは今どきの商品やコストの低い商品が手に取りやすく、年配の方からは軽くて小さい商品や非日常を味わえる体験などが好まれていた。
- ・ 今回の調査を通して米沢織が知られてない一つの要因は、米沢織を置いている店が少ないからだと思った。

米沢織を後世まで残していくために、新しいアイデアを考え

広める活動を自分たちが主体となって行っていきたい。